

遺愛吹奏楽局と 札幌支部の同窓生が交流！！

8月31日（木）に札幌のキタラで全日本吹奏楽コンクール北海道大会が催され、遺愛吹奏楽局はA編成で初出場しました。結果は金・ゴールドでした。とても美しい音色で素晴らしい演奏だったので、あわよくば全国大会と思ったのですが、伝統校の壁にはね返されました。生徒の皆さんは悔し涙（小学校・中学校時代に全国大会に出場経験のある生徒も少なくないので）をこぼしていましたが、A編成全道大会初出場で金・ゴールドは極めて異例のことだったようです。間違いなく、来年につながる演奏でした。

大会前日に、岩見沢市民会館で仕上げの練習をしました。遺愛同窓会札幌支部の皆さんが15名も岩見沢市民会館に駆けつけて、後輩たちにエールを送って下さいました。夕方5時30分過ぎから、吹奏楽局員は、讚美歌338番を歌った後、顧問の高久先生の指揮で本番と同じ曲を同じ流れで演奏をしました。そして演奏後には、同窓生3人からのエールの言葉、局長からの感謝の言葉が交わされ、最後に、ともに記念の写真を撮りました。

できれば、本番も聴いていただきたかったのですが、全道大会A編成のチケットはインターネットでの申し込み・抽選で購入するため、ほとんど当たりません。でも本番当日に聴くことができない同窓生の皆さんが、岩見沢までわざわざいらして聴いて下さり、本当にありがたいことでした。生徒たちもとても励まされ、本番の素晴らしい演奏につながりました。



2017年8月31日